

第2回門真市立老人福祉センター・門真市高齢者ふれあいセンター・  
門真市地域高齢者交流サロン指定管理者候補者選定委員会会議録

1. 開催日時 平成23年3月22日（火）午後1時～4時半
2. 場 所 保健福祉センター 4階 第3会議室
3. 出席委員 小寺委員・柳原委員・吉兼委員・稲毛委員・高尾委員
4. 事務局 健康福祉部 健康福祉総務課 老人福祉センター

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから第2回門真市立老人福祉センター・門真市高齢者ふれあいセンター・門真市地域高齢者交流サロン指定管理者候補者選定委員会を開催させていただきます。

《資料確認》

それでは、これ以降の進行を委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【委員長】

本日の委員会の案件は法人の面接審査となっております。

審査に入ります前に、事務局より本日の審査方法について説明をお願いします。

【事務局】

それでは審査方法について説明させていただきます。

前回2月22日に開催いたしました選定委員会書類審査では、シルバー人材センターが663点、日経サービスが712点、晋栄福祉会が831点で3法人とも最低基準点を上回っておりましたので、全法人が本日の面接審査へ進んでおります。

面接審査については申請書が提出された順番で1番目にシルバー人材センター、2番目に日経サービス、3番目に晋栄福祉会で、プレゼンテーション15分、質問時間であるヒアリング15分を予定しております。

採点についてですが、第1次審査よりの選定基準に即した審査項目を新たに設定させていただいております。ヒアリングについては、この審査項目に対応した共通質問項目を設定し、お配りさせていただいております。それぞれ各委員様に担当していただく質問を指定させていただいております。プレゼンテーション終了後の15分のヒアリングでまずこれら質問を各法人への共通の質問として聞くこととさせていただきたいと思います。

共通質問が終わりましたら、各委員、質問がございましたらご自由にしてください。結構ですが、15分という限りがありますので、簡潔、明瞭に回答するように促していただければと思います。よろしくお願いいたします。

全法人のプレゼンテーション及びヒアリングが終わりましたら、採点を行います。なお、採点に際しては疑問点など、審査について意見交換を

行っていただきます。

最適候補者の最終決定については、各委員様に前回委員会にて採点いただきました各法人の書類審査時の点数と本日のプレゼン及びヒアリングの評価点数を合計し、最も高い合計点の法人を指定管理者候補者に決定いたします。

以上、本日の流れですが、全法人のプレゼン・ヒアリング終了後、各委員の意見交換、採点、事務局による集計、公表となっております。最終全て書類は回収させていただきますのでよろしくお願いいたします。

**【委員長】**

ありがとうございます。ただいまの説明に対して何かご質問はございませんでしょうか。

それでは面接審査に入らせていただきます。事務局、準備をお願いします。

《シルバー人材センター 入室》

**【事務局】**

《プレゼンテーション・質疑応答の流れを説明》

**【シルバー人材センター】**

《プレゼンテーション》

**【委員長】**

ただいまの説明及び提出書類の内容に対して何かご質問はございませんでしょうか。

私のほうから、提出にも記載があるのですが、再度今回の老人福祉センター等の指定管理に申請された理由だとか動機についてもう少し詳しくご説明していただきたいのですが。

**【シルバー人材センター】**

シルバー人材センターとしては、高齢者に働く場所を提供しようということで考えておるのですが、現実問題として日本の高齢化は待ったなしの状態になっているのが現状だと思います。いま5人に1人が65歳以上、この20年後には3人に1人は65歳以上であると推定されておる中で、この豊かな日本を維持するための数少ない方策の一つが高齢者の方が地域とのいろんなところで生涯現役でなんらかの活躍いただくということを作ることしかないと思っております。その一つとしてシルバー人材センターがあるわけで、その中で、なかなか特に高齢者の方が働ける場所ということが少ないというのが現実ですので、指定管理を受けさせていただくことで、高齢者の方の生涯現役のお手伝いをさせていただけたらということで応募させていただいたわけでございます。

**【委員】**

指定管理料の算定にあたり、縮減の重点ポイントとしたところはどのような

点でしょうか。

**【シルバー人材センター】**

まず縮減するための手法といたしましては、会員様の就労ということを考えておりますので、清掃作業であるとか、営繕だとか、ちょっとした修理も業者発注ではなくシルバー人材センターでやっていただくという方向があるのが一つであります。管理職員については、正直いまして、大幅に縮減をしているわけではないんです。実際に業務をさせていただく中で、当然、余剰が出てきた場合のことも想定をさせていただきまして、シルバー人材センターは利益を求めない仕事をさせていただくことが基本ですので、もしも予算の関連上で余剰金が発生した場合は、利用者の方へなんらかのプラスになるように必ず振り分けをさせていただくことをお約束させていただきたいと思っております。ですから、指定管理料を下げられないのであれば、いろいろ施設中で不足している備品を購入するなどに使わせていただけたらと思います。人件費分が多いので、どうなっていくかというのが読めない部分もあるかと思っております。

**【委員】**

収支計算書の中にある、会員配分金は会員の方にお支払いされるということですか。

**【シルバー人材センター】**

そういうことです。普通の指定管理ということであれば、業者さんに出されるか、もしくは自分で雇われた職員の方にお支払されると思っておりますが、この場合、配分金ということで、人件費と考えていただけたらいいかと思っております。

**【委員】**

地域高齢者交流サロンについて、現在青少年活動センター職員が管理していただいておりますが、今後指定管理になった場合、この地域高齢者交流サロンへの配置はどのようにお考えでしょうか。また、現在市が雇用している臨時職員の方々の採用等につきまして具体的な考えがありましたら教えていただきたいなと思っております。

**【シルバー人材センター】**

現在、市で雇用しているアルバイトの方につきましては、基本的には再雇用と考えておりますけども、経費の削減等もありますので、当社のアルバイトの基準で募集をさせていただきたいなという考えはしております。

それと配置については、今の利用状況がそんなに頻繁ではなく施設の開閉しかされていませぬので、同様に当面は職員が誰かが行って鍵の開け閉めをするという形になるのかなと思っております。ただ、今後利用率が上がってきますと、当然職員の配置は考えないといけないと思っております。

**【委員】**

センター事業の柱として、高齢者の生活や健康に関する各種相談、介護予防などに関することもあります。この事業に対応できるスタッフとしてはどのような方をお考えですか。

**【シルバー人材センター】**

提案しておりますワンストップサービスというのは、一つの場所でいろんな情報を提供させていただくことを想定しており、それぞれの専門的な内容はそれぞれの施設を案内し聞いていただくといったポイントをお伝えするようなことに考えております。それ以外にもシルバー人材センターでは、体力テストや運動会とかいった会社向けの事業を何年間もやっておりますので、それらを通じて大学の先生や保健所の方に関していろいろな情報がありますので、そちらの方を紹介するというのをここでは謳っていると思っていただけたら近いかなと思います。

**【委員】**

結局、そういった相談業務には、スタッフは考えておられないんですね。

**【シルバー人材センター】**

考えてないというか、どのような職員を雇用するという発想では出来上がってないということです。ただ、職員もそれなりに高齢者関係の事業をやっていますので、どういう人はどこに行けばいいということもわかっていますし、今は特にシルバー人材センターとしても事業の中に協働という発想を取り入れ、いろんな団体と一緒に事業をしようという発想になっていますので、民間の企業と一緒に指定管理を請け負い、シルバー人材センター単独ではできない部分はいろんなところの知恵や力をお借りして事業をしていき、そのコアの部分シルバー人材センターが負わせていただくように考えておりますので、そうご理解いただけたらと思います。

**【委員】**

地域やボランティア等との連携で地域通貨「蓮」の活用方法を提案いただいておりますが、それ以外のことでもこの地域通貨「蓮」の活用方法があるのかなと考えられるのですが、そういう点でさらにこういったことを考えているという具体的な考えがあれば教えていただきたいのですが。

**【シルバー人材センター】**

この4月から新しい事業として、ワンコインサービスというのを始めます。これは買い物であるとか、ちょっとした話相手であるとか、身近なところで年寄りが困っていることに対するちょっとしたサービスをワンコインの100円や500円単位で仕事を受けさせていただこうという事業です。今度新しく4月の広報紙に載せる予定をしておるのですが、この利用のために普段のシルバー人材センターの仕事と差別化をしないと、労力を安売りしてしまうのもちょっとつらいなというのがあります。そこで、高齢者の身近なサービスをワンコイ

ンサービスとして仕分けする目的で地域通貨を使わせていただくことを決定しています。地域通貨で簡単な仕事をご依頼いただきましたら、ワンコインでちょっとした買い物やゴミ捨て、話し相手になるなどの業務をさせていただくために今シルバー人材センターの中で会員を募集しまして、約80名の方がこの事業をしたいと集まっていたいておりますのでその方たちを育成していく予定をしています。このワンコインをするために地域通貨を使うのですが、この地域通貨という呼び方がなかなか分かりづらいということがありましたので、うちが指定管理を受けさせていただけるのでしたら、今回の施設で「蓮」により仕事の引き受けということもさせていただけたら、地域の高齢者の方との交流が図れるのと同時にシルバー人材センターの事業の発展にも寄与させていただけるのではないかなと思っております。

#### 【委員】

今後、地域に入って地域住民の方との交流を深めていくことになりますが、そのときにどのような関わりを具体的にもっていかれようとしているのか、それと施設の特徴がございまして、その特性に応じた事業展開などのお考えがあればお聞かせください。

#### 【シルバー人材センター】

長い目で見ていただくと、定年退職されてから全く何もされなくなると家にもこまれてしまうので、シルバーの施設の中で埋めこめさせていただいてつながりのある事業をやっていただけたいかなと思ったりしています。

同時に、われわれスタッフは若干若いですが、会員は年代も近いですし、年齢が近い方同士が同じように、段階的に少し若く元気な方は働くことを中心に、少し疲れてきたら有償のボランティアを、もう少しもう働くのがしんどくなったら簡単なボランティアでもとかという形で住み分けをしながら一緒にシルバー人材センターの中でできたらなと思ったりしております。

#### 【委員】

管理収支計算書の水道光熱費の備考欄に3%削減と書かれているのですが、初年度から徐々に削減と書いていただいておりますが、素朴な疑問なんですが固定費みたいなものですので、削減できるのですか。

#### 【シルバー人材センター】

1つは電気代だとか、暖房代だとかがかかっているのを、温度設定を1度ずつ下げるとかということも含めて、みんなで少なくしていこうと考えております。われわれの発想としましては、してもらえばっかりでなくて、われわれも一緒に協力しよう、一緒に地域のために何かやっていこうと考えていますので、その考え方を門真市施設の管理でも使わせていただきたいと思いますと思っています。現在シルバー人材センターで毎月ボランティアで清掃活動をやっています、弁天池の指定管理も毎月ボランティアで清掃をやっていますが、この施設もできたらボランティアでいろんなことをしてもらえるとということもしたいと考えてい

ます。電気もちょっとずつ節電できる部分はさせてもらおうということを含めて何%などという目標を立ててやっていきたいなということなんです。

**【委員長】**

ありがとうございました。これにて審査を終了させていただきます。

《シルバー人材センター退室》

《日経サービス 入室》

**【事務局】**

《プレゼンテーション・質疑応答の流れを説明》

**【日経サービス】**

《プレゼンテーション》

**【委員長】**

ただいまの説明及び提出書類の内容に対して何かご質問はございませんでしょうか。

まず最初に私のほうから、今回のエントリーの動機だとか理由について、地域コミュニティの再生などお話があったのですがもう少し具体的にお聞かせいただきたいのですが。

**【日経サービス】**

まずは多くの利用者の方に利用していただく。その中で今現在、潜在的にご存知ない方だとか、もっとつながりを求めている方などを掘り起こして、さらに、皆様がまず集まって活動を行っていただける、そういった場所にしたいと思っております。そのために自主事業計画といたしまして、そういった健康福祉、健康の増進に関する取り組みを考えております。

**【委員】**

センター事業の柱として、高齢者の生活や健康に関する各種相談、介護予防などに関することも入りますが、この事業に対応できるスタッフとしてはどのようなスタッフの方をお考えですか。

**【日経サービス】**

特に、年金のことや介護保険のことは、利用者の中に相談がある方はたくさんいらっしゃるかと思います。まずスタッフの条件といたしましては、当社がスタッフを配置するにあたりまして、そういった研修受講経験や知識のある方、ファイナンシャルプランナーなど資格のもっている人材を配置したいと考えておりますし、こういった施設で勤めたことのある又は相談をしたことのある人材を確保した上で、相談窓口などに対応していきたいと思っております。また

市との連携なども必要になってくるかと思いますが、そういったところは運営をしながらネットワークをつくっていき、よりよいサービスに繋げていきたいと思えます。まずは人のスキルのなところでそういった人物を配置したいと思えます。

**【委員】**

専門的な人員配置は考えておられないのですか。

**【日経サービス】**

もちろん考えております。館長になるスタッフだとか、今人材を確保する上で、病院関係も非常に当社として取引がありますので、その中から人材の採用に結び付けたいを思っております。

私たちの従業員は約 4000 人いまして、その中には、大学を出た者から高齢の者までいまして、これらの相談を我が社の人事部がいろんな相談を受けて対処しておりますので、配属後、万が一分からない点がございましたら私どもの人事部と緊密な連絡をとりまして対処させていただくよう考えております。

**【委員】**

指定管理料を算定していただくにあたり、縮減を考えていただいたと思えますが、重点ポイントとしてはどのようなことを考えていただいてこの指定管理料を算定されたのか教えていただきたいのですが。

**【日経サービス】**

縮減のポイントといたしましては、人件費のところは下げにくいですので、施設管理の上で自社で清掃するとか、設備の保守あたりをさせていただきまして、金額は変わらないのですが長期的な視点でみたところでコストメリットを高めていきたいなと思っております。スタッフを引き継がさせていただく中で、質問の中で給料についても触れられていたので、このあたりはあまり削減せずにさせていただきたいと思っております。

**【委員】**

収支計画書の中に、例えば清掃管理費なんかは日経サービスさんにお支払することになるということよろしいですか。

**【日経サービス】**

そうです。

**【委員】**

その他経費が初年度で 140 万、次年度で 240 万で月額 20 万ぐらいで考えておられて、内訳を見せていただきましたら求人広告だとか、研修費とかあるのですが、月額 20 万ぐらい発生するのですか。

**【日経サービス】**

その中には、会社運営費や何らかの形で運営するにあたってかかる人件費、本社の者が動いたり管理するのに間接的にかかる費用とかを含めて、そういった形で記載させていただいております。

**【委員】**

備品購入費が初年度 60 万とあってこれが PC を 2 台買うということで、次年度以降が 76 万 8 千円ということですが、機械をリース料として月額 2 万 5 千円が 2 台ということで、簡単に考えたら機械を買ったからもうリース料は発生しないのかなと思ったのですが、なんでリース料があるのか、メンテナンス費用が結構かかるのかなどについて、どういう内容なのか詳しくお聞きしたい。

**【日経サービス】**

リース料につきましては FAX 複合機のリース費です。

**【委員】**

PC ではなくて、FAX のリース料ですね。わかりました。

**【委員】**

3 施設を管理していただきますが、人員配置の考え方で、先ほどのご説明と資料と人数が違うのかなと思いつつ見させていただいておるのですが、館長がいます、常勤職員が 2 名、前いただいていたのは常勤職員が 2 名ということで、館長がこの中に入っているということで私たちは見ているのですが、今回は館長を入れて 3 名という形の提示になっているのでそのあたりの整理と、週 5 回とありますがどういう形で週 5 回の出勤になるのかと、それから地域高齢者交流サロンは今青少年活動センターの職員が対応をしておりますが、それには人員配置をしておらないのですが、今後地域高齢者交流サロンへの人員配置はどういうふうにお考えですか。ここに必要に応じてと書いていますがどういう意味なのかとあわせてお願いします。それから市が現在雇用をしております臨時職員について、採用していただける具体的なお考えがあればお願いします。

**【日経サービス】**

まず人員体制につきましては、申し訳ございません、今回パワーポイントで提示させていただいた内容が誤っております。本来は館長と常勤の方 1 名です。

**【委員】**

常勤職員の中に館長が含まれるということですか。

**【日経サービス】**

そうです。それと週 5 日の勤務体制についてですが、基本的には朝から夕方まで勤務していただこうと思っております。だいたい週 5 日ぐらいでそれをシ

フトで管理していきたいと思っております。常に2名ぐらいは従事しているスタッフがいます。交流サロンにつきましては、老人福祉センターのほうから常勤のスタッフが利用者の予約があった日に出向いて鍵の施錠であったりとか、そういった業務に関わるようなことの準備であるとか、そういったことを対応することを考えております。

職員採用については、当社も採用活動を行いますので、その中でお声かけをまずさせていただきたいと思っております。もちろん勤務条件だとかシフトのことだとかそういったことも含めて提示した上で、採用の意思があることを確認した上でもし面接が必要であればさせていただこうと思っております。もちろんこちらの採用基準もありますので、それに見合った方を採用させていただきたいと思っております。なによりも先日、老人福祉センターと交流サロンのほうを訪問させていただいたのですが、すごく対応がよくて、2回目行ったときにはもう顔も覚えていただいております。そういった対応を見て非常に感動しました。そういった方に条件があえばお勤めさせていただきたいと思っております。

#### 【委員】

お話の中で、より多くの方にご利用いただくということで、今午前午後の予約とされていますが、2時間ごとという形でされるのは、利用者の方にとって長かった利用が短くなるのが予想されますが、そのことについてはどのようにお考えですか。

#### 【日経サービス】

細切れにさせていただいて、その分の1コマだけでなく2コマとっていただいても可能ですので、午前午後を4つに分けさせていただいてそのうちの午前中9時から11時と11時から13時までだとか、9時から13時までの時間帯を予約していただいても可能な形で対応させていただきたいと思っております。

#### 【委員】

地域通貨「蓮」の活用ということで今のところボランティアの報償のような形で払っていただける提案ですが、我々としても、ぜひこの地域通貨を2、3年後には広げていけたらと考えております。そんな中で老人福祉センター等が一つの核となる施設であるのかなと考えておまして、活用の機会がかなりあるのかなと思っておりますが、その中でガーデニング以外に何か今後検討される方向性とかがございましたらお願いします。

#### 【日経サービス】

「蓮」については、私もいろいろ調べさせていただきまして、パンフレットとかいただいて、どういう形で「蓮」を活用すればいいかすごく考えたのですが、何か大会などを開催して、報償といいますか、そういう形で使用したい。習字のコンクールや陶芸のコンクールをしてその最優秀作品には「蓮」で報償として支払いたいとも考えております。パートの方からもアイデアをいただいてそういった部分でいろいろ取り入れていきたいなと思っております。今回、

「蓮」の予算もいくらか計上させていただいて、その中の運用できる範囲の中でいろんな取り組みを試みてみたいなど考えております。

**【委員長】**

今後、地域の方と交流が大事になると思うのですが、これまでのノウハウを活用して美化活動なんかは出てくるのですが、それ以外に地域住民さんとの交流なんかで具体的なイメージはありますか。

**【日経サービス】**

清掃活動が主になっていくと思います。他には地域のお祭りを考えておりこのあたりでも夏になるとお祭りがあると思うのですが、そういうものにセンターも地域の一員として参加させていただくことを考えております。

**【委員長】**

よろしいでしょうか。これにて面接審査を終了します。どうもありがとうございました。

《日経サービス 退室》

《晋栄福祉会 入室》

**【事務局】**

《プレゼンテーション・質疑応答の流れを説明》

**【晋栄福祉会】**

《プレゼンテーション》

**【委員長】**

それでは、委員のほうから何問か質問させていただきたいと思います。まず私のほうから、提出書類にも書かれているのですが、今回老人福祉センター等指定管理に申請された動機についてもう少し詳しくご説明いただきたいと思います。

**【晋栄福祉会】**

私たちはこれまで介護保険の事業、保育の事業などを運営させていただいておりますが、いわゆる自立、ほぼ自立された要支援、あるいは中間ぐらいの方々への支援というのは現在行っておりません。今、財政的なことでありますとか、他のことも含めると将来的にはこのあたりのことは縮小されていく傾向にあるのかなと考え、実は私たちは今、社会貢献事業といたしまして、2、3箇所ほどサロンの事業、市役所の前のくすのき介護センターあるいは大和田のほうにサロンということで、地域の高齢者の方に利用していただくふれあいの場を提供しております。しかしながら、規模が小さく数名のご利用です。現場からはもっとサロンの事業を増やしてということで要望もあがっておりますが、自

主事業といたしますか、なかなか収入のない形となっておりますので、新たな支援は難しいなど思っておったところに、ちょうどこのたびの老人福祉センターの募集がございましたので、将来的にどういう結果になるかわかりませんが、何かセンターというものを核に市民の方の介護だとか、支援できる拠点というものを模索していきたいというのが最初でございます。

**【委員】**

指定管理料を提示していただいておりますが、この指定管理料を算定していただくにあたって、縮減というものを考えていただいたと思うのですが、重点ポイントというのはどんなところですか。

**【晋栄福祉会】**

今現在のポイントということを見ると、人件費があると思います。我々としては、この人件費の中身を考える中で、一つは現状清掃業務を全て委託されておると聞いておりますが、清掃業務はパート職員を別に採用したいと思っております。全体的な管理料を計算したときに我々として今現在、施設にも清掃職員等いるのですが、そういった形も含めて、全体的な部分としてはそのほうが管理を行いやすいとともに経費の削減がそのあたりで少しできるのではと考えております。もう一つは光熱水費に関しましては年間で3～5%程度の減という形で考えていきたいと計算をしております。

**【委員】**

具体的に光熱費をどのように3～5%削減するのですか。

**【晋栄福祉会】**

それは今現状で光熱水費がどれほど削減できているかというのがわからないので単純に言えないのですが、我々としては、先ほども申し上げたとおり安全安心に対する考えでいきたいと考えています。今回の震災により、普段使っていない場所はほとんど電気を消しているとは思いますが、電源一つにしましても、コンセント一つにしましても普段からつけたままにしておくのと、そうでないのと全く違うと思います。そういったところが、今現状でどこまでされているか私どもとしてわからないのですが、そういったところに関しましては職員の中で徹底を図っていきたいなど思っております、そういった少しの積み重ねが大事だと思っております。それともう一つが、やはりこの時代ですのご利用者の方々にもそういったことをセンターとしては行っていくことを周知しながら具体的にご協力いただく形で進めていきたいと思っております。

**【委員】**

管理業務収支計算書の中で、収入の中でその他の欄をいただいておりますが、講座参加実費 300 円で何人かということに入れている。結局は予想してはいるけども、万が一なくても影響ないでしょうか。

### 【晋栄福祉会】

基本的に講座の参加費用というのは、こちらが何かを行う際に資料等を含めて本当に必要な材料費という形で計上しているだけです。当然講座の回数が増えたのにも関わらず参加人数が少ないときでも、材料費が全く要らないときもあるので、今現状としてこういった形で上げさせていただいております。

### 【委 員】

センター事業として、高齢者の生活や健康についての相談業務というのが大切なものになると思いますが、それらに対応するスタッフの取り組みの考え方を教えていただきたいのですが。

### 【晋栄福祉会】

今回の職員配置の中で、正職員は2名という形をとっておりますが、この2名は現状では法人内の異動という形をとるようになろうかと思っております。現状では我々法人自身の職員というのは、それぞれが専門職です。現状としましてもこれまで介護を必要とする人が中心ですが、そういった方々を含めた相談は常日頃から行っております。ですから、高齢者の方々にはどういった方々がいらっしゃるのか、そして介護に対しましては介護の必要性であったり、法律制度的なところも含めて理解をした者が行っておりますので、こういった者が今回センター事業に関しても携わるという形になるかと思っております。

それとは別で、先ほど申し上げましたが地域包括センターで実際にそれ相当の経験を積んだ専門職の職員が行っておりますので、センター事業に関しましては、自主事業はもちろんそうですがそれ以外の相談事業に関しても専門的な形で携わることを考えておりますので、そういったところを我々法人として、今までの力をそのままこちらのほうにお貸ししたいなというふうに考えております。

### 【委 員】

先ほど非常勤職員のお話もありましたが、管理者とかセンター長の肩書きの方が配置されていないのでこの考え方と、地域高齢者交流サロンは現在職員を設置してなく、青少年活動センターの職員が管理するということになっていますが、そのあたりの地域高齢者交流サロンの人員配置の考え方、また現在市が雇用している臨時職員の方が採用を希望した場合の考え方をお聞かせ願います。

### 【晋栄福祉会】

まず管理者等に関しまして、基本的には正職員がそれぞれ管理者の役割を行うというふうに考えております。ただ、運営上やはりセンター事業を行うにあたりましては、職員も始めてですので基本的には法人自身がバックアップした形で行おうと考えております。それと、今現在働いている職員の雇用に関してですが、これは現状の方が希望されましたらこちらのほうもそれ相当の相談を考えます。ただ我々の法人といたしまして、それぞれの就業規則等を設けておりますので、それをもってお話をさせていただきたいと思っております。

その中で双方問題なくいけばそのまま雇用させていただく形を考えております。そういった方々が我々のところにセンター事業としてお越しいただくのは、これまでの実績を持っておられますので、新たに我々が事業運営を行うにあたっては力になる部分がありますので、そういった部分も含めながら雇用に関しましては考えていきたいと思っております。

交流サロンに関しましては、本来は今現状でお聞きしていることも含めまして運営を行う形ですが、あちらの場合は事務所がまず設けれないという問題もございますので、そこに常備するということは難しいと思っております。ですから、それぞれのセンターの職員が巡回するような形をとりたいと思っております。

**【委員】**

センター長や管理者については安心しておいてよろしいですか。

**【晋栄福祉会】**

はい。あわせて防火管理者につきましても、設置が必要なところもたくさんありますので、法人としましてもそういったことも含めて配置していきたいと思っております。

**【委員】**

地域通貨「蓮」の関係なんですけど積極的に活用していただいご協力いただいておりますが、具体的に老人福祉センター事業についても広げることを検討する中で、予算収支の中で事業費みたいなものが上がっていないので歳入と歳出の関係、また実際やるときにどういう手立てを使って「蓮」を活用するのか、あるいは事業費を含めてどのように見出していくのかという点について、もう少し具体的な方策を考えておられましたら少しお聞かせいただきたいと思っております。

**【晋栄福祉会】**

事業の収入、支出のところでは上げておりません。と言いますのは、これは我々が一つの提案としてあげているものですから、これをいわゆる今回の指定管理業務の中に組み込んでいいのかということもありました。ですから組み込んでいないということが正直あります。ただ、先ほども申し上げたように、「蓮」を活用する気持ちは書かせていただいておりますが、高齢者にとって一番問題となる買い物を行う場所などを常日頃からサービス提供するような形を考えております。それは何かと言いますと、以前でしたら近くの慣れた場所に商店があったところがどんどん衰退しております。実際こういった商店を利用される方々にとっては、そこが本当にそのような活用の場所なんや、やはりそうなんやということもありますので、この「蓮」を通じて少しでも地域が活性化していただければということの願いが1つあるというふうに思っただけだと思います。ただそうしましたら、「蓮」も高齢者だけが使っていればいいのかということそうではない。若い方々にも使っただきた

ということもございまして、先ほど自主事業の中に若い方、子育て世代の方々にもお越しいただいて「蓮」をお渡しする機会を作ればということを考えております。ただ、収支の中にそういったところが入っていないものですから、どれだけのものをこちらがお出ししていいのかというところが正直あるのですが、それは自主事業を行いながら検討していきたいと思っております。

現状、「蓮」を利用できる事業者にはなっているのですが、今、「蓮」を販売しているところまで買いにいけないとか、取りにいけないといった理由で需要があり、今取次ぎ店や代理店みたいなところをどこか考えておられるということですので、それについても一緒にいろいろと相談を受けるということを老人福祉センターでできるのかということも検討させていただきたいと考えております。今現在、案ですけれども事業計画書の中で提示しておりますので、こういった形で積極的に利用はさせていただきたいと思っております。

#### 【委員】

地域の住民の方との接点が多くなっていくと思うのですが、その中で介護保険事業ということでサロンなど展開されている事業以外の事業展開として具体的なものがあれば教えていただきたい。

#### 【晋栄福祉会】

今現在、門真市の事業として保育分野では子育て支援センターの委託を受けていまして、そのセンターの職員で、昨年も講演会を開いたりもしています。あわせて、新たに実施できる分として、当初、保育所と公的な施設だけという感じで行っていたんですが、介護保険の事業所にもいるのではないかとということで、現在介護保険事業所を4箇所整備して動いているので、門真市の事業についても協力できることはできるだけ協力していきたいというふうに思っております。あと地域包括支援センターとも協力してやっていきたいなと思っております。

あと、老人大学のようなものができればいいなと思っております。例えばパソコン教室などどこまでできるかわからないですが、まず今市がされていることは基本になるかなと思っておりますが、何かそういう高齢者の方にいろいろ学んでいただいて、そこからつながりができてOB会を作っているところもあるようです。

#### 【委員長】

よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。以上で面接審査を終了したいと思います。

《晋栄福祉会 退室》

以上で全法人の面接審査が終了しましたが、審査について意見交換を行いたいと思っております。何かご意見や疑問点はございませんでしょうか。

#### 【全委員】

特になし

それでは特に意見もないようですので、各委員、採点をお願いいたします。

《各委員採点》

採点は終了しましたでしょうか。それでは事務局による集計を行いたいと思います。

《事務局集計・報告》

【委員長】

ただいまの報告によると、日経サービスが 1,417 点、シルバー人材センターが 1,348 点、晋栄福祉会が 1,651 点という結果になりましたので最適候補者は晋栄福祉会となりました。皆様ご意見はありませんでしょうか。

【全委員】

異議なし

【委員長】

それでは晋栄福祉会を最適候補者といたします。それでは、その他の事項として、事務局より何か連絡事項などはありますか。

【事務局】

本選定委員会での会議の内容については、不開示情報を除いた概要を会議録としてまとめ、ホームページに掲載させていただきます。以上でございます。

【委員長】

それでは、本日の委員会は以上をもって終了させていただきます。大変長い間ありがとうございました。